



令和4年6月20日

「マイスター・ハイスクール事業」(文部科学省)に採択決定について

～地元企業が求める人材像の共有と人間性と専門性を備えたスペシャリストの育成～

静岡県立浜松城北工業高等学校は、文部科学省による令和4年度マイスター・ハイスクール(次世代地域産業人材育成刷新事業)に採択されました。産官学(ヤマハ発動機株式会社、浜松市、静岡県、本校)が連携し、地元企業が求めるデジタルトランスフォーメーション(DX)、ロボティクス人材の育成に注力します。

7月から、ヤマハ発動機株式会社から「マイスター・ハイスクールCEO」を学校の管理職として、「産業実務家教員」を常勤の特別教諭として迎え、令和4年度は主に3年生の授業に参画してもらおうと共に、CEO・実務家教員講話をはじめとして全校生徒が在学中に企業の考え方に触れ、主体的・対話的で深い学びを実践できる環境を整えます。

新たに開講される予定の学校設定科目(県教育委員会に申請予定)は次のとおりです。

科目名	ロボティクス概論(1単位)
対象学科・学年	4科(機械、電子機械、電気、電子)・3年生(R4年度入学生～)
内容	本校にロボット関連企業から講師を迎え、産業実務家教員とともに、ロボット工学についての実習等を行い、専門性を高める。

教科・科目名	ロボティクス実習(1単位)
対象学科・学年	4科(機械、電子機械、電気、電子)・2年生(R4年度入学生～)
内容	長期休業中の集中講義 ロボット関連企業において実習等を行い、ロボット工学についての知識及び技能を育成するとともに、職業人としての自覚を養う。

問合せ先

取材に関する問合せは、浜松城北工業高校(053-471-8341)鈴木副校長までお願いします。



地球にやさしいエンジニアを育てています